

# 平成 25 年度お城を中心としたまちづくり懇話会議事録（抄録）

日時：平成 26 年 3 月 28 日（金）

10：00～13：00

会場：もりおか歴史文化館

（1 階研修室）

## 1. 開会

- ・事務局より、委員の出席数が規定数に達しているため、本会が成立している旨を説明。
- ・本年度より、一般財団法人盛岡青年会議所理事長大泉勝嗣氏が懇話会委員に就任した旨を報告、紹介を行なった。
- ・開会に先立ち、傍聴者並びに報道機関への注意。（傍聴・報道関係者：4 名）

## 2. 挨拶

- ・盛岡市都市整備部藤島部長よりあいさつ。
- ・お城を中心としたまちづくり懇話会倉原座長よりあいさつ。

## 3. 報告

|                 |   |
|-----------------|---|
| 事務局             | <b>■計画に位置づけられた施策の実施状況について【資料 1】</b><br>平成 24・25 年度中に実施された、お城を中心としたまちづくり計画の中に位置づけられた事業の実施状況（実績）について【資料 1】を基に、主な事業を紹介するとともに、短期事業計画（平成 21～25 年度）中の事業実績についてパワーポイントを使用し説明を行った。 |
| 高橋（司）委員<br>柴田次長 | 《質疑・意見等》<br>震災で傷んだ鐘楼については、いつ頃修復が完了するのか。<br>工事の受注業者が決まったので年内には修復が完了する見込みである。今年を除夜の鐘をついていただけたと思う。   |
| 高橋（司）委員         | 亀ヶ池の西側のサクラについてだが、そろそろ寿命という感じがしている。併せて、東大通のモンタン裏の通路が崩れてきていて危険な状況である。以前から要望しているつもりであるが、今後の措置についてどのように考えているか。  |
| 事務局             | 盛土や舗装することが出来ないので、杭を立ててロープを張るなどの措置を講ずることとしたい。  |
| 高橋（司）委員<br>事務局  | サクラについては新規の植樹を検討しているか。<br>新規の植樹は計画していないところである。既存のサクラを長く生かすことを検討していきたい。  |
| 高橋（司）委員         | 新たなサクラの植樹については、指定管理料も限られている中なので、指定管理者も出来ない状況なのだと思う。木が枯れてしまった場合、新しい苗木に花が咲くまで時間がかかってしまうので、きれいなサクラ並木の維持を   |

|   |   |
|---|---|
| <p>齋藤委員</p> <p>林委員</p> <p>高橋（司）委員</p> <p>倉原座長</p> | <p>図ってもらいたい。</p> <p>木を植え替えることも、施設の大規模改修と同じ考えで捉えてもらい、市の方で手当てすることとしても良いのではないか。</p> <p>サクラの苗木は、良い状態のものだと1本2万5千円くらいするようだ。</p> <p>何十年か後になって、みんなから良いと思われる景観を残せるようにしていただきたい。</p> <p>各委員から寄せられた意見について、今後の取り組みをご検討していただきたい。</p> <p>なお委員の皆さんには、本日の懇話会の次の話題である「事業計画の見直しと今後の取り組みについて」のところで新しい提案も出来ると思うので、ご発言いただきたい。</p> |
| <p>4. 協議</p> <p>事務局</p>                           | <p><b>■事業計画の見直しと今後の取り組みについて【資料2】</b></p> <p>平成25年度までの事業実績を踏まえ、これまでの事業期間の捉え方を見直すと共に、継続的な取り組みが必要な事業や、未着手の事業について今後の見通しを踏まえた実施期間の見直しについて、<b>資料2</b>やパワーポイントを使用して説明を行なった。</p> <p>また、本計画の推進やより良いまちづくりに必要な新規事業についても、事業の概要と取り組み期間について説明を行った。</p>  |
| <p>林委員</p> <p>事務局</p> <p>林委員</p>                  | <p>《質疑・意見等》</p> <p>もりおか雪あかりに関連して。最近亀ヶ池畔の樹木にイルミネーションを点灯させているようだが、事業主体はどちらになっているか。</p> <p>もともとは商工会議所が主体となって、石垣ライトアップとして毎年おこなっていたもので、近年LEDのイルミネーションを点灯させるようになったものである。</p> <p>ゆきあかりと連動させると集客効果があるのではないか。</p> <p>他のイベントでも、相互に時期を合わせる事が有効なものがあるのではないか。</p>  |
| <p>倉原座長</p> <p>齋藤委員</p>                           | <p>環境教育プログラムは非常に良いものだと思う。</p> <p>環境というと自然環境ということになりがちだが、今後は、自然環境学習を起点として、まちなか、商店街の環境学習という広がりを持たせることも考えてはどうか。</p> <p>東大通の駐車帯に関連することで、以前は自転車通行帯が駐車帯の車道側に設置されていたが、いつの間にか無くなってしまっていた。また、バスの通行を可能にするため車線が変わってしまい、通りが狭くなってしまっている。「歩いて楽しむまち」を推進するのであれば、必ず駐車帯は必要なのかということも考える必要があると思う。</p>                           |

|         |  |
|---------|--|
| 事務局     | 東大通駐車帯の件については、車両の通行の関係や駐車帯を利用される方々との関連に加え、警察との協議も必要であるので、時間が必要だと考えている。   |
| 斎藤委員    | 自転車活用推進会では、以前東大通に設置されていた自転車通行帯は全国でも設置例が無く評価が高かった。岡山や金沢での大会でも事例報告がなされたほどで、一時的であったが盛岡は先進地であった。   |
| 大泉委員    | サンピルの交差点については、左折車線が無くなって通行が不便になった。渋滞もしている。   |
| 斎藤委員    | 以前は大通～東大通の一方通行については、進行方向を逆にしたらどうかという議論もあった。  |
| 林委員     | 内丸緑地の管理はどのような形態になっているのか。   |
| 事務局     | 内丸緑地は岩手県の所管となっており、管理は盛岡城跡公園と同じく NPO みどりの相談室が指定管理者となっている。   |
| 林委員     | 同じ組織が指定管理をしているのであれば、県と市が一緒になって維持管理や改善のための方策を進めたほうが良いと思う。<br>あそこにもヒマラヤシーダがあっとうっそうとしているが、今後はどのように取り扱おうとしているのか。   |
| 事務局     | 県とのやり取りの中で、県としては櫻山神社参道地区の動向も見据えながら考えていきたいとのこと。ヒマラヤシーダの伐採については、歴史文化館脇の伐採で揉めた経緯があることから、相当慎重になっているようである。  |
| 高橋(司)委員 | 樹木が少し池側に傾いているところもあるようなので、注意してもらいたい。  |
| 斎藤委員    | 櫻山神社参道地区のまちづくりについて、妥協点としてはどのような内容になるのか。  |
| 高橋(司)委員 | 現在は話し合いを進めながら、市と関係者間で相互の理解を得ながら進めているところ。最近はライフラインの維持について・・・下水については、私設管であることから、地元でも修繕の際には費用を負担しなければならないことは理解できるが、実際は厳しい部分がある。地区として商業形態の営業を許可できるということであれば、インフラについては市の方で費用負担してもらえないかということを考えている。<br>安心・安全のまちづくりということであれば、規則等に捉われず対応してもらいたいと考えている。 |
| 倉原座長    | 櫻山神社参道地区の件については、どのようにアプローチしていったらよいのか難しいところであるが、高橋(司)委員としてはどのようにお考えか。   |
| 高橋(司)委員 | 建替えについての条件は市の方から提示されている。しかしながら、地区全体のことを考えていかねばならない。いずれにしても、改築には費用がかかるので、現在の経済状況の中でお金を出して改築しようという人は少ないのではないかという印象である。<br>地区内には土地・建物所有者、賃貸契約者が混在している状況で、建物に  |

|                              |   |
|------------------------------|---|
| <p>倉原座長</p>                  | <p>対して、大家さんはなるべくお金をかけたくない、けれども店子さんは家賃も払っているので修理等は大家さんにやって欲しいと思っている等、気持ちの合わないところがあるようだが、それぞれの物件で様々な条件があるようだ。</p> <p>今後は、借りている方と大家さんも話し合いの場に参加してもらえよう、連絡のつきにくい土地・建物所有者を探して、一緒になってまちづくりの将来像について納得しながら進めていきたいと考えている。</p> <p>話し合いを進めていく上では、所有権を持っている大家さんにも会議に出席してもらわないといけない。いずれにしても一朝一夕にはいかないと考えている。</p> <p>「櫻山神社参道地区を考える会」の運営等を支援していくことも事業化してはどうか。まちづくりの活動自体を支援していくことも事業の一つといえる。</p> <p>続いて、お城の正面性という部分についてだが、先日見たテレビ番組で、サンビル側でアナウンサーが「盛岡城跡公園の正面」という発言をしていた。今後の整備事業できれいになる計画のようで、西側の本来の正面でないところが盛岡城跡公園の顔になっていくような印象を受ける。歴史的な正面はやはり北側の櫻山神社参道地区であったり、櫻山神社のところだったりするので、しっかり認識してもらうことが大切だろうと思う。</p> |
| <p>坂本委員</p>                  | <p>正面に相当するのは櫻山神社参道地区であるが、建物が支障となっている印象。</p>   |
| <p>倉原座長<br/>坂本委員<br/>事務局</p> | <p>盛岡城跡公園内は、多層的な歴史があって面白いところだと思う。</p> <p>菜園側のトイレは将来どのようなようになるのか。</p> <p>昨年度策定した史跡整備基本計画の検討段階で、老朽化が進んでいることや構造上暗いことなどから使いにくいこと、無くても良い等の意見が寄せられたため撤去することとし、撤去後は石貼り舗装の小さな広場として整備する計画としている。</p>  |
| <p>坂本委員</p>                  | <p>菜園側の石垣は角が見えるようにしたら良いと思う。よって、(榊山稻荷曲輪下の)ケヤキは枝払いをするなどして樹形を整えたほうが良いと思う。</p>  |
| <p>倉原座長<br/>事務局</p>          | <p>彦御蔵については、将来的に活用できるような姿を目指しているようだが、現状はどのようなになっているか。</p> <p>消防法の関係等で常時公開できない状況で、現状では年1回4月末に開催している環境緑化まつりの際に公開している程度である。</p>  |
| <p>高橋(司)委員</p>               | <p>なお、平成31年度以降に休憩等ができる施設として整備する計画である。</p> <p>盛岡城跡公園や周辺のまちづくりについては、観光客やいらっしゃる方々が何を望んでいるのか把握する必要もある。</p> <p>融雪装置の設置については、以前から要望していたことであり、一步前進したと思う。</p> <p>全てのお城がどうなのかわからない部分もあるが、復元については正確で</p>  |

|         |  |
|---------|--|
| 事務局     | <p>ないといけないということである。しかし、別な切り口として、歴史的なものの復元でなければ良いのかということもあるのではないか。</p>  |
| 事務局     | <p>復元については決して文化庁は基準を緩めたというわけではないので、今後も復元の根拠となる資料を調査する必要がある。中には、海外に写真資料が存在する例もあるので、多方面に声をかけて参りたい。また、現存する資料の分析も進める必要があると思う。</p>  |
| 高橋（司）委員 | <p>私は、盛岡城跡公園内にサービスセンターが必要だと考えている。皆さんが良く通るところから離れた彦御蔵を休憩施設として整備するよりも、ここに来れば休憩も出来て色々なことが判るという施設を優先的に整備すべきと考える。</p>   |
| 事務局     | <p>サービスセンター機能については、史跡整備基本計画の策定段階で設置位置等を検討したが、適地が見つからなかったという経過がある。必要な施設であるので、今後も盛岡城跡整備委員会等で検討していくこととしたい。</p>  |
| 林委員     | <p>お客様に盛岡を案内するとき、まずは歴史文化館を案内して、盛岡城跡公園に行くようにしている。しかしながら公園内には建物が無いので案内できるものが無い状況。何か一つ欲しいところである。</p>  |
| 高橋（智）委員 | <p>これからさまざまな事業を進める際には、絵になるような景観となるような整備を進めて欲しい。例えば、記念撮影のバックにしたりとか観光コースの写真として取り上げてもらったり、テレビドラマのロケ地になるようなものを目指してもらいたい。</p>   |
| 高橋（司）委員 | <p>環境教育の一環として、中津川での活動は子供の教育にとっても非常に大事なものと捉えている。どのように関わっていくかで、環境を大切にしようという思いも醸成されるのではないか。活動にあたっては、ストーリーを作るとともに、学校同志で連携しつつ、何らかのテーマを決めて取り組んでいけるようにしてはどうか。</p> <p>小さい頃に中津川で活動したという体験を通して、環境の大切さ等を植えつけていくことが大切だと思う。</p> <p>また、このことに限らず、市の方で様々な事業が進められているが、市民の側としてはどこの部署が何をやっているのかわかりやすくすることも大切だと思う。</p> |
| 倉原座長    | <p>絵になる、物語になるようなという言葉が出された。</p> <p>使いやすい施設作り、物語性や絵になる景観という視点も取り入れつつ、受け継がれていくまちづくりについて、本計画の改訂作業の中で検討していただきたい。</p>   |